

学びをひろげる

(第37回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2021年11月27日(土)(1時45分~5時)

場所 城東区民センター4階 中会議室

〒536-8510 大阪市城東区中央3-5-45 TEL06-6932-2000

参加費 500円(会場費・運営費等)※学生は、無料です。

Zoom参加を希望される方は松森までメールにて申し込んでください

matumori@crux.ocn.ne.jp 入室のURLと資料を送ります。

終了後、上限500円とする投げ銭(カンパ)をお願いします。

一人で拡がらない学びを○(まる)人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。



地下鉄「長堀鶴見緑地線・今里筋線」浦生四丁目駅 1番・7番出口 徒歩約5分

京阪電鉄 野江駅 徒歩約8分

今回 第37回は

川西寿美子さん「性の多様性」「性差別」の話



最近は多様性がよく話題になります。

その中でも「性の多様性」は、よく耳にするようになりました。オリンピックで話題になった「トランスジェンダー・トランス女性」という言葉、LGBT、SOGI、レズビアン・ゲイ、などカタカナやアルファベットが多い言葉です。性差別といえば女性差別のように思われますが、性に関わらず多くの人が性に関わるハラスメントを受けています。「女らしく、男らしく」「~のくせに」何気ない言葉の中に差別につながる可能性があると思います。

言葉を知らないと、ヒトを傷つけてしまうかもしれません。まずは言葉を知り、理解することから「性の多様性」「性差別」について考えたいと思います。

(川西寿美子さんプロフィール)

電子会社勤め、薬剤師、私立高校教員、漢方薬、大阪私立学校人権教育研究会など。現在は、専門学校講師、相談員、NPO 法人理事、学校薬剤師をしながら、鍼灸専門学校で学生です。頼まれればどこにでも研修に行っています。

みなさん、ぜひご参加ください!

前回 第36回の内容

牧口一二さんを囲んで

牧口さんの個人史と時代状況と世界の歴史が重なって聞こえてくる稀有な体験となりました。たとえば小学校就学の話、「1946年4月に母はボクを負ぶって、3歳下の妹の手を引きながら学校へ行くも、テンヤワンヤで断わられてしまった。翌年にも行くと、今度は『お待たせしました』と、おおらかに迎えてくれて、9歳で1年生に。以後、小・中・高と3歳離れた妹と同じクラスになった。

牧口さんの生まれた1937年は盧溝橋事件が発生し、南京大虐殺があり、日中戦争が本格化して、更に太平洋戦争、第2次世界大戦へと広がり、そして敗戦。日本国憲法が公布され、戦後民主主義教育が叫ばれるようになる。激動の歴史の中を生き残った障害のあるイッチャンの姿が生き生きと伝わってきました。そんな個人史を聞きながらスタッフの松井さんは「いまの課題」とつなげて感想を寄せました(部分)。

——「障害」をその子の問題として捉える親は多いのではないだろうか。その子を変える(治療する・鍛える)ことで「障害」を小さくすることができるかもしれないと思う。だから親はまず医療に期待をする。次に訓練、そして教育に期待をする。親が子どもの学力を上げたくて塾に通わせるのに似て、教育によって障害が軽くなるなら支援学級でも支援学校でも行かせてあげたいと考えるのは不自然ではない。パラリンピックのメダリストをイメージして、特別の指導や環境を提供することでその子の能力を開発し延ばし、生きていく上での「障害」を小さくすることをイメージする。(メダリストが言う「夢を持ち続けなければいつか叶う」というフレーズが私は大嫌いだ。)「一人一人の教育的ニーズに最も的確に答える指導」などと謳う「特別支援教育」も罪が大きい気がする。

「期待される人間像」はもとより「学歴社会」「良い子・悪い子・普通の子」などと言った風潮の中で、社会の役に立つ人間、役に立たない人間、害になる人間と人間をランク付けして見るのが当たり前になってきたのはいつからだろうか。

人間は生きて存在することが素晴らしいと思える日は来るのだろうか。

※牧口一二さん講演記録動画YouTubeで配信 <https://www.youtube.com/watch?v=O5vY2q4f25Q>

「学びの会 牧口一二」でも検索できます。



「学びをひろげる」スタッフ 松井 直哉、松森 俊尚(☎090・1960・3469 ✉matumori@crux.ocn.ne.jp)

「学びの会」ホームページ <http://gakimon.main.jp/manabiwohirogerupe-ji.html>